

令和3年度医療情報に関する理解促進委員会の書面開催結果

1 議事

(1) 令和2年度医療情報に関する東京都の取組実績について

- ・医療機関案内サービス「ひまわり」について、令和2年度のインターネットアクセス件数が前年度から半減していることについて、原因分析が必要である。
- ・医療情報ナビ Web 版のアクセス件数についても減少している。今後スマートフォンからの利用をどのように増やしていくかが課題となる。
- ・住民、患者が適切に医療機関を選択できるよう、さらなる精度向上を期待している。

(2) 医療情報ナビの改訂について

- ・「オンライン診察」の説明の中で、「医師からリアルタイムに診察を……」とあるが、「リアルタイム」という表現にイメージが湧きづらい可能性がある。「医師と直接話しながら診察を受けることができる」等の表現の方が分かりやすいのではないか。
- ・最新の医療情報を反映することができている。
- ・電子データでの公開を促進していくための周知方法について検討していく必要がある。

(3) 医療情報の理解促進に関する研修会について

- ・オンデマンドの配信により、視聴しやすくなっている。
- ・コロナ禍に即したテーマでよかったのではないか。
- ・患者視点からの研修を入れてみてはどうか。
- ・動画中、一部音声聞き取りづらかった部分があった。
- ・コロナ禍という事情もあるが、対面形式の方が質問しやすいといった側面もあるので、検討してほしい。

2 報告事項

(1) 全国統一システムへの移行に係る進捗状況について

- ・東京都の医療機関情報を全国の方が閲覧できることになることで、都の医療提供体制にどのような影響があるか考えていく必要がある。